

トピックス



大阪市北区天満橋 1-8-75 TEL 050-3160-6763

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/>



バーチャルで森林を散策してみませんか！ ～ VR 森林散策～

【技術普及課】

近畿中国森林管理局では、「With コロナ」時代に即した新たな森林とのふれあい体験として、VR（バーチャル・リアリティ）技術を利用して森林散策が可能となる「VR 森林散策」の提供を開始しました。

このVR森林散策は、国有林内で森林散策等が可能な名所等を動画撮影し、農林水産省の公式YouTubeチャンネル「maffchannel」に公開しています。パソコンで視聴する場合は、マウスでドラッグしながら画面を動かすことで360度の風景を自由にみることができ、スマートフォンやタブレットで視聴する場合は、端末の動きに併せて視点が動くことで360度を自由にみるすることができます。

また、スマートフォンとVRゴーグルを組み合わせると、あたかも森林の中にいるような錯覚を起こすほど、臨場感あふれる自然を満喫することが可能です。

令和3年4月現在、当局管内の国有林を中心に6本の動画を公開しています。この機会に是非「VR森林散策」を体験してみてください。お手持ちのスマートフォン等でQRコードを読み込むと、そこには普段目にするのことができない貴重な自然が広がっています。

【近畿中国森林管理局ホームページ ～VR森林散策～】

<https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/policy/business/sitasimou/vr/index.html>



VR 森林散策・サムネイル画像事例



また、VR 森林散策動画の森林ふれあい推進事業への活用として、昨年開催した「山の日」記念イベントでは、森林散策のバーチャル体験プログラムを実施しました。参加者は、目の前に広がる光景に興味津々で、「色々な山のVR 動画を作ってほしい」といった嬉しい感想をいただきました。

当局では、引き続き、管内の森林管理署等と連携しながら、国民の皆様に森林・林業への関心を深めていただけるよう、様々な森林空間を題材にしたVR 動画の配信およびイベントでの活用に取り組むこととしています。



森林散策バーチャル体験の様子

近畿中国森林管理局ホームページ ～ VR 森林散策～ 作品一覧

シリーズ	タイトル	撮影地
第1弾	みのおこくゆうりん 箕面国有林	大阪府箕面市（箕面国有林）
	★見どころ 箕面国有林は、大阪都心から約1時間の距離にありながら、豊かな生態系が育まれており、自然に親しむためのハイキング道・自然研究路や施設も充実しています。「明治の森箕面自然休養林」として、林野庁がお薦めする「日本美しの森 お薦め国有林」に選定されています。	
第2弾	はなせ 花脊の三本杉	京都市左京区 ^{だいひざん} （大悲山国有林）
	★見どころ 大悲山国有林内にある「花脊の三本杉」は、峰定寺の御神木であり、平成29年11月に林野庁京都大阪森林管理事務所が行った調査では、東幹が高さ62.3mで日本一の高さであることがわかりました。林野庁の「森の巨人たち百選」、京都府の「京都の自然200選」にも選定されています。	
第3弾	ひょうのせん 氷ノ山	兵庫県養父市・鳥取県若桜町 ^{やぶ わかさ} （奥山国有林外）
	★見どころ 氷ノ山は、兵庫県最高峰、鳥取県でも大山に次ぐ高さを誇る日本二百名山の一つです。奥山国有林の大段ヶ平コースの登山口（兵庫県養父市）から入山し、山頂（氷ノ仙、四ヶノ仙国有林）までの登山の様子をお楽しみください。	
第4弾	おうぎのせん 扇ノ山	鳥取県八頭町 ^{やず} （扇ノ仙国有林）
	★見どころ 扇ノ山は、氷ノ山後山那岐山国定公園の北限に位置し、近畿・中国地方を代表する火山の一つです。鳥取県側の扇ノ仙国有林の一部は「扇ノ仙森林スポーツ林（八東ふるりの森）」として「日本美しの森 お薦め国有林」の一つに選ばれており、カワセミ、アカショウビン、セキレイ等の野鳥観察が楽しめます。	
第5弾	あかさい 赤西溪谷	兵庫県宍粟市 ^{しろう} （赤西国有林）
	★見どころ 赤西溪谷は兵庫県宍粟市の北部に位置し、「水源の森百選やひょうごの森百選」に選ばれており、宍粟市の水源として地域に恵みをもたらしています。赤西国有林内の赤西自然観察教育林は、赤西川の清流に沿って豊かな自然を堪能できる「日本美しの森 お薦め国有林」の一つで、季節によって溪流に映える青葉や紅葉を楽しむことができます。	
第6弾	おおだいがはら おおすぎだに 大台ヶ原・大杉谷	奈良県上北山村・三重県大台町（吉野熊野国立公園、大杉谷国有林）
	★見どころ 三重県と奈良県の県境を分ける台高山脈の奈良県側は大台ヶ原、三重県側は大杉谷と呼ばれ、それぞれ環境省と林野庁が所管しています。動画では大台ヶ原の登山コースから入山し、快晴の日出ヶ岳や正木峠から大杉谷国有林を展望できます。	

「極楽橋森林整備プロジェクト実行委員会」に感謝状を贈呈。

【和歌山森林管理署】

林野庁では、毎年、国有林における森林づくりや環境保護など「国民の森林づくり」の推進に功労があった方々に対し、林野庁長官より「国民の森林づくり推



進功労者」として感謝状を贈呈しています。

今般、高野山国有林をフィールド

山口代表（写真左）と渡辺署長（写真右）として国民参加の森林づくりに取り組んできた「極楽橋森林整備プロジェクト実行委員会（代表者 山口文章 総本山金剛峯寺山林部長）」に林野庁長官から感謝状が贈られることとなり、本年5月18日、渡辺和歌山森林管理署長から贈呈しました。



林野庁長官からの感謝状

同実行委員会は平成21年3月に設立され、「社会貢献の森」協定を和歌山森林管理署と締結し、広く市民に呼びかけ、昨年9月の第23回までに延べ700人を超えるボランティアの森林整備活動や清掃活動などを進めてきました。この活動は国民の森林づくりに対する意識の醸成だけでなく、景観の改善による世界遺産としての高野山の魅力向上にも大きく貢献し、功労者としてふさわしいものです。

和歌山森林管理署では、今後も引き続き、同委員会の森林づくりと連携し、市民と一体となった取組を進めていきます。

「わかさ氷ノ山夏山開き」に参加しました。

【鳥取森林管理署】

5月30日、「わかさ氷ノ山夏山開き」にて登山者の安全を祈願する神事が行われ、当署を代表して中本鳥取森林管理署長が参加しました。



中本署長による玉串奉天

当行事は、例年山頂中央部広場にて執り行われますが、今年は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、八頭郡若桜町「高原の

宿水太くん」前の駐車場にて行われ、前夜に行われる「たいまつ行列」は中止となりました。



神事の様子

当日は、梅雨の中休みといえる素晴らしい晴天の下で、地元関係者11名が今シーズンにおける登山者の安全を願う玉串を捧げました。

その後、参列した登山者はマスク装着、人と人との間隔確保等コロナ感染症対策を十分にとり山頂を目指しました。



登山の様子（氷ノ山山頂） 登山の様子（氷ノ山越～山頂）

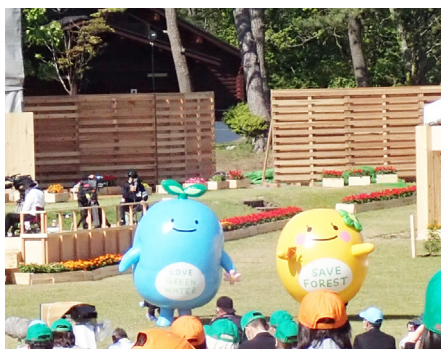
「第71回全国植樹祭」が島根県で開催されました。

【島根森林管理署】

5月30日（日）、島根県大田市三瓶山北の原で「第71回全国植樹祭」が開催されました。島根県での開催は1971年以来50年ぶり2度目で、テーマは「木でつなごう 人と森との縁の輪」でした。午前は式典会場近くに設けられた記念植樹の会場に、招待者や一般参加者がクロマツ、ヤマザクラなどの苗木約2千本を緑豊かな森林になることを願いながら植えました。



お野立所・会場スクリーン



みーもくとみーなちゃん



ウェルカムボード



クロマツ絵馬の木



三種の旗

プロローグでは島根県紹介映像が流されるとともに、島根県知事より大会シンボルマークなどの入選作受賞者へ感謝状が贈られました。

式典では、両陛下のほか26都道府県からオンライン参加となりましたが、会場のスクリーンを通じて両陛下と会場は一体となりました。

式典の中で両陛下による赤坂御用地でのお手植え、お手播き、御収穫が行われました。半世紀前に昭和天皇が御植樹されたクロマツを天皇陛下が伐られる「御収穫」は、全国植樹祭で初めて行われ、循環型林業の象徴として全国に発信されました。

エピローグでは、島根県出身のふるさとトークに続き、現地式典会場来賓者のラインナップによるフィナーレで幕を閉じました。ここに植えた木が大きく成長することを願いつつ、「木でつなごう 人と森との縁の輪」のメッセージを全国に届けたいと思います。

「全国イノベーション推進機関ネットワーク堀場雅夫賞」を中島浩一郎氏 (銘建工業株式会社代表取締役社長) が受賞。

【農林水産省】



中島浩一郎氏
銘建工業株式会社
代表取締役社長



銘建工業本社の遠景

地域イノベーション・地方創生活動に従事している支援者のうち、最も優秀な活動を行った地域産業支援者として、中島浩一郎氏（銘建工業株式会社代表取締役社長）が「全国イノベーション推進機関ネットワーク堀場雅夫賞」に選ばれました《第10回地域産業支援プログラム表彰事業（イノベーションネット2021）を主催する一般財団法人日本立地センター及び全国イノベーション推進機関ネットワークが6月2日に発表》。 <https://www.innovation-network.jp/recent/2021050600017/>
<https://www.meikenkogyo.com/>



CLTと集成材を使った銘建工業本社

中島氏は、少子高齢、過疎化が進む岡山県真庭市で、バイオマス産業とCLT(直交集成板)などの推進普及に約30年に亘って携わり、持続可能な資源である「木材」を利用し、顧客や社会にとって新しい価値を作り出してきました。バイオマス産業とCLTは、2014年日本再興戦略に林業の成長産業として位置づけられ、中島氏は、我が国のパイオニアとして現在も活躍しています。



CLTの写真

これらの構想は着実に実装され、また、木くずや未利用材を燃料とした「真庭バイオマス発電所」を日本で先駆けて立ち上げ、一般家庭用22,000世帯分の需要に相当する10MWの発電設備を2015年に整備し、1年間で約25億円の

売上と約50名の新規雇用を創出しました。

その他、2004年から木くずの有効活用として、固形化した燃料「木質ペレット」を製造しています。「木質ペレット」は固形燃料として、暖房設備やハウス栽培の野菜の加温などに利用され、ペット用のトイレにも使われています。



真庭バイオマス発電設備



木質ペレット

お知らせ

森林のギャラリー（局庁舎1階）



【技術普及課】

○森林のギャラリー（局庁舎1階）現在の展示内容は下記の局ホームページでお知らせしています。

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/policy/business/sitasimou/gallery/index.html>



【箕面森林ふれあい推進センター】

令和3年度「森林ふれあい推進事業」のイベント実施団体等を募集中です。

https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo_fc/fureai_suishin/fureai_suishin.html



【三重森林管理署】

○大杉谷国有林からの手紙(51通目)を発行しています。

<https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/mie/oosugitegami.html>



花草木

【アジサイ】

アジサイ（ホンアジサイ）は、日本で原種のカクアジサイから改良した園芸品種で、カクアジサイに近い落葉低木です。6月から7月にかけて開花し、白、青、紫または赤色の萼（がく）が大きく発達した装飾花をもちます。カクアジサイではこれが花序の周辺部を縁取るように並び、園芸では「額咲き」と呼ばれます。カクアジサイから変化し、花序が球形ですべて装飾花となったアジサイは、「手まり咲き」と呼ばれます。

アジサイの語源ははっきりしませんが、もっとも有力とされているのは、「藍色が集まったもの」を意味する「あづさい（集真藍）」がなまったものとする説です。日本語で漢字表記に用いられる「紫陽花」は、平安時代の学者がこの漢字をあてたことから誤って広まったといわれています。

花の色は土壌のpH（酸性度）によって変わり、一般に「酸性ならば青、アルカリ性ならば赤」になると言われています。（リトマス試験紙とは逆となっています。）

青い紫陽花の花言葉は、『冷淡』『無情』『辛抱強い愛情』、白い紫陽花の花言葉は『寛容』、ピンクの紫陽花の花言葉は、『元気な女性』『強い愛情』など色によって様々な花言葉があるようです。



大阪市内の公園で撮影したアジサイの花

我が署のスタッフ

福井森林管理署

野口 一樹（のぐち かずき）（令和3年度採用）

【現在取り組んでいる仕事は？】

治山グループで土木担当の係員として、主に崩落が発生した山腹や林道の復旧工事に関する業務を行っています。現在は崩落した箇所や測量や、それをもとにした治山工事の積算、公告資料の作成などに携わっています。

私は本年度の新規採用のため、上司に教わりながらの補助的な業務がほとんどです。

入庁してからまだ日が浅いため、慣れないことやわからないことばかりで、業務を覚えることに追われている日々ですが、その分達成感のある仕事だと思えます。今はできるだけ早く業務を覚え、自分自身で業務をこなせるようになりたいと感じています。

【職場の雰囲気は？】

和やかな職場だと思えます。年齢層がやや高い気もしますが、優しい方が多く、わからないことがあっても相談しやすいため、過ごしやすい環境です。

【林野庁の魅力は？】

まず、実際に現場に出る機会があることです。自然の中で体を動かしながら仕事ができることはそれだけで楽しいと感じられます。また、森林に関わる業務は長期的な目が必要であり、自分が担当した業務の成果が長く残ることも魅力だと思えます。その分責任もありますが、やりがいの持てる仕事です。



かんむりやま
冠山 国有林にて

森林事務所紹介

ほくせい
北勢森林事務所 (三重森林管理署)

首席森林官 定森 弘道 (さだもり ひろみち)

北勢森林事務所は、三重県北部の7市1町に所在する国有林と官行造林を管理しています。

岐阜県に接する北部の古野裏山及び悟入谷国有林では早くから生産事業が実施され、その大部分がスギ・ヒノキの人工林となっており、樹齢100年を超えるヒノキ人工林もあります。近年でも複層林施業による小面積の皆伐や植林、間伐を実施しています。植林地では皆伐跡地に植付をしますが、シカにより食害を受けることから防護柵や単木防護管の設置が不可欠です。防護柵が雪や倒木で被害を受けるとシカが侵入するので、防護柵の種類や設置方法を検討し、施工しています。シカについては、ワナによる捕獲事業も実施しています。



間伐後の林分 (悟入谷国有林)

また、この地域において、森林共同施業団地を設定し、民国連携して事業を実行していますが、署の管外である岐阜県の森林所有者とも協定を締結している珍しいケースとなっています。

その一方で、この地域の国有林ではオフロードバイクが無断侵入し、林道や林内を走行することが後を絶ちません。国有林だけではなく民有林の事業者にとっても林道を走行することから危険であり、見つけた場合は、注意を行い国有林からの退去と今後の入山禁止をお願いしています。

中部の鈴鹿山地に所在する冠山国有林、入道ヶ嶽国有林、仙ヶ岳国有林は急峻で、古くから治山事業が実施され先人たちの努力により緑が回復し、多くの登山者が訪れる山となっています。

伊賀市に所在する国有林は人家や田畑に近い里山で、小さな谷の奥深くまで水田やため池が現存して境界線が複雑な箇所が多く、境界巡視にはたいへん苦勞しています。

伊賀市付近は古代には初期の琵琶湖の湖底であったといわれ、滋賀県の信楽に接するこの地域は国有林内にも良質の粘土が採掘される箇所があり、鉱山として貸付をしています。採掘された粘土は地元の「伊賀焼」となっています。

このような多種多様な国有林の管理に日々励んでいます。



入道ヶ嶽国有林の治山事業地 (中央の山腹工は平成29年～令和2年度施工)



焼尾国有林に隣接する池と水田

シリーズ 『国有林 最前線！』

おおななし 手取川上流大汝国有林崩壊地対策について

石川森林管理署



崩壊地の状況（平成 27 年 6 月）



崩壊地の復旧状況（令和 2 年 9 月）



ヘリ緑化の様子（令和 3 年 6 月）



種子採取状況（令和 2 年 10 月）

石川県の手取川において、平成 27 年 5 月上旬に濁水が発生したことを受け、上流の大汝国有林を調査した結果、面積約 15 ヘクタール（斜面長 800m、幅 200m）もの大規模な崩壊地が確認されました。

長期に及ぶ濁水により、農業や漁業など下流域に多大な影響を与えたことから「手取川等濁水関係連絡会」を設置し、関係行政機関と連携しながら、平成 27、28 年度に応急対策工としてヘリコプターを活用した袋型土留工、侵食防止剤吹付工等を実施しました。平成 29 年度からは、5 ヶ年計画として有識者からなる「手取川上流崩壊地に関する技術検討会」を設置し、多角的な視点に基づき、技術的な検討を行い緑化対策を進めています。

なお、緑化に使用する種子については、当署と石川県立大学、環境省、白山市が連携して近隣の国有林内で在来種子を採取し、それを使用し緑化の促進に取り組んでいます。

令和 3 年度は、令和 3 年 6 月にヘリコプターによる航空緑化工に着手したところです。

また、これまでの緑化対策の効果等を検証し、有識者等の意見を踏まえて、今後の対策等を検討していくこととしています。